

7. 学社融合の実践

1. 令和元年度重点目標

(1) 特性を活かした施設の運用

複合型の教育施設である総合教育センターにおいて、施設の特性を活かし、学社融合の考え方に基づく施設運用を図る。

(2) 教育センター、少年科学館及び清水地区公民館の連携

総合教育センターを構成する教育センター、少年科学館、清水地区公民館の3館が円滑に事業推進できるよう施設の管理・運営を行い、相互に連携を図ることで、それぞれの機能・資質を向上させ、様々な分野の人材が交流・協働することで、市民に様々な学習の場を提供する。

2. 総合教育センター



名称 佐世保市総合教育センター

所在地 佐世保市保立町12番31号

電話 76-7330 内線 7500-100~102・130

沿革

平成22年10月1日に開館した複合型の施設で、教職員の研修施設である「教育センター」、主に児童生徒の科学教育を推進する「少年科学館」、清水中学校区の生涯学習施設である「清水地区公民館」の3つの施設から構成される。

1 施設の内容

鉄筋コンクリート造3階建（一部4階建）、延べ面積4,248.01㎡、総工費約13億6,500万円

(1) 少年科学館施設（783.33㎡）

プラネタリウム室、天体観測室、科学展示コーナー、理科室、サイエンスホール

(2) 教育センター施設（758.88㎡）

教科書センター、パソコン研修室、教材開発室、小研修室、中研修室、相談室

(3) 清水地区公民館施設（721.44㎡）

講堂、工作美術室、講座室、調理実習室、和室、図書コーナー

(4) 共用スペース（1984.36㎡）

廊下兼ロビー、事務室、視聴覚ライブラリー等

2 視聴覚ライブラリー

社会教育・学校教育において視聴覚手段を活用して学習効果を高めるとともに、教育の機会を充実させるため、視聴覚ライブラリーの整備を図る。

・教材保有状況	16ミリフィルム	175本
	ビデオテープ	396本
	DVD	151本

視聴覚教材・機材の貸し出し

・教材の利用状況（単位：本）

年度	フィルム	ビデオ	DVD	計
23	16	243	132	391
24	16	125	127	268
25	18	76	130	224
26	4	24	122	150
27	3	21	134	161
28	11	10	102	123
29	7	13	112	132
30	10	5	115	130

3 利用状況

利用者数（単位：人）

年度	教育センター	少年科学館	清水地区公民館	その他	計
23	19,151	49,627	38,082	2,510	109,370
24	20,245	39,678	38,877	1,538	100,338
25	21,736	50,433	45,861	4,318	122,348
26	24,739	49,512	46,743	4,056	125,050
27	19,831	49,938	42,760	3,924	116,453
28	20,841	57,248	40,223	4,550	122,862
29	23,912	56,094	41,304	4,453	125,763
30	26,674	49,481	38,543	2,760	117,458

3. 少年科学館



名称 佐世保市少年科学館

所在地 佐世保市保立町 12 番 31 号（総合教育センター内）

電話 23-1517 内線 7500-105~108

沿革

少年科学館は旧児童文化館の後継施設として、平成 22 年 10 月 1 日、総合教育センター内に開館した。

目的

体験的な活動を通じて科学に対する興味関心を高め、児童生徒の科学教育を推進する。

1 施設の内容

(1) プラネタリウム室

延面積 122.25 m² ドーム内径 8.0m、定員 68 名

デジタルプラネタリウム

五藤光学研究所 バーチャリウムⅡ-HD

(2) 天体観測室

面積 108.0 m² ドーム内径 5m

主鏡 高橋製作所 20 cm 屈折式望遠鏡

(3) その他

科学展示コーナー、理科室、サイエンスホール

2 事業

(1) 主に児童及び生徒を対象とした各種科学分野の教室の開設及び研究活動の指導奨励に関すること

(2) プラネタリウム・天体観測室の運営に関すること

(3) 理科教育に関する資料の収集、作成及び提供に関すること

(4) 各種関係団体、機関等との連絡及びその活動の支援に関すること

3 令和元年度事業計画

(1) 少年科学館運営事業

科学への興味・関心を誘うきっかけとして「天文」「環境」「エネルギー」「自然科学」「下村脩氏」をテーマに、見て、触れて、楽しい体験ができる展示室の充実

(2) プラネタリウム・天体観測室事業

① プラネタリウム各種番組の投映

○ 学校等団体用投映

学校向けに学年や学習に応じた内容で構成

○ 学習投映

天文に関する基礎的な内容で構成

○ 一般投映

市民の天体への興味・関心を高める内容で構成

② 天体観望会

○ 市民を対象として主に土曜日に実施

(3) 科学大好き事業

① 科学大好き教室

「夏休み子ども科学教室」「チャレンジ科学教室」

② 少年科学教室

「りかあそび」「天文」「楽しい電気」等 6 教室

③ 科学イベント

「こどもの日 GO! GO! 科学教室」

「サイエンス広場で遊ぼう」

④ 下村脩ジュニア科学賞 SASEBO

科学的発想に基づき、発見・観察・実験・調査などを行ってまとめた作品を募集・審査し優秀な作品を表彰

⑤ 小・中学校の学校理科支援

学習内容に応じた理科実験プログラムの実施

⑥ 理科実験講座

市内小・中学校教員向けの理科実験講座の実施

⑦ サイエンスショー

科学への興味・関心を高める実験ショーの実施

⑧ おもしろ科学工作

科学への興味・関心を高める科学工作の実施

(4) 理科学習支援事業

市内小学校 4 年生を対象とした少年科学館理科学習の実施

① プラネタリウムでの季節の星座や星の明るさ、動き等についての天文学習

② 天体観測室での月や太陽の観察

③ カリキュラムに即した実験等

(5) その他

① 3 館連携事業（教育センター・清水地区公民館）

② 学社融合事業

4 少年科学館事業参加者数

平成 26 年度	53, 767 人
平成 27 年度	56, 806 人
平成 28 年度	64, 308 人
平成 29 年度	62, 326 人
平成 30 年度	58, 354 人

4. 教育センター



<研修の様子>

名称 佐世保市教育センター
 所在地 佐世保市保立町12番31号（総合教育センター内）
 電話 76-7331 内線 7500-109～113

沿革

教育センターは昭和44年4月1日佐世保市教育研究所と佐世保市理科センターを統合し天神山に開設され、平成22年10月1日の総合教育センター供用開始に伴い、天神5丁目から保立町に移転した。

目的

教育に関する研究調査及び教育関係職員の研修を行い、もって教育の進歩発展に資する。

1 施設の内容

(1) 研修室

中研修室1・2・3、小研修室1・2、
 パソコン研修室

(2) 教科書センター

(3) 教材開発室

(4) 相談室

2 事業

- (1) 学校教育に関する研究調査に関すること
- (2) 教育資料の収集、刊行及び活用に関すること
- (3) 教育関係職員の研修に関すること
- (4) 教職員に対する教育相談に関すること
- (5) 各種教科書、図書及び資料の整備並びに閲覧に関すること

3 令和元年度事業計画

(1) 研究調査

教育センター方針をふまえた実践的研究及び調査を行う。

① 「特別活動」（2年次）

主題「主体的なかかわりの中で、互いを認め合う子どもを育成する特別活動の創造」～学級マネジメントを個に応じた自立を育むための土台とし、支えあい、ともに学ぶ活動を通して～

○研究のまとめ・リーフレット作成

○佐世保市教育センター教育フォーラムにて発表

② 「プログラミング教育」（1年次）

○仮説検証のための実践授業及び研究協議

(2) 教職員の研修活動の推進

教職員の資質能力及び授業力向上のため、教科・領域に関わる研修を実施するとともに、教育課程実施上の諸課題を解決し実践するための基礎的・基本的な研修を行う。

① 経年研修…教職員の資質向上のため、法定研修をはじめとする悉皆研修を行う。

初任者研修、2～5年目研修、6～10年目研修、
 中堅教諭等資質向上研修、16年目研修

② 職能研修…教育課程実施上の諸課題を解決し実践するため各主任等に対し、基礎的・基本的な研修を行う。

悉皆	学校経営研修、学校運営研修、教務主任研修、研究主任研修、生活指導主任・生徒指導主事研修、道徳教育推進教師研修、特別支援教育コーディネーター研修
希望	学校経営参画研修、学校運営参画研修、特別支援学級担任研修、臨時的任用教員研修、非常勤講師研修、出前研修

③ 課題研修…学校教育推進上の諸課題に対応した内容の研修を行う。

小学校外国語、中学校英語、英会話、道徳教育、生徒指導、教育相談、不祥事防止
 シリーズ研修「新学習指導要領」
 <授業編>授業づくり＋公開授業
 ・授業総論 ・小中学校 国語、算数、数学
 <学級経営編>
 ・学級経営、特別活動、特別支援教育

- ④ 授業改善研修…授業力向上のための実践的研修を行う。

ア 授業公開…研究員等による研究授業を位置付けた研修を行う。

研究主題	内容
自らの未来をつくり出す資質・能力の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～	小学校（国語、社会、算数、理科、外国語、道徳） 中学校（国語、社会、数学、理科、英語、道徳） ※実践協力員も加わる。

イ 講義・演習…外部講師等を招集しての講義や演習を中心とした研修を行う。

- ⑤ リテラシー研修…ICT活用指導能力等向上研修を行う。

タブレット等活用	ICT機器基本操作、タブレット活用、教材提示装置の活用、プログラミング教育
ネットワーク研修	学校教育ネットワーク運用、情報セキュリティ

（3）教育相談の充実

- ① 小・中学校及び義務教育学校の教職員を対象にした教育に関する相談を行う。
- ② 必要に応じて、学校及び関係機関と連携して対応する。

（4）教育情報の提供

- ① 研究成果をの発表を行う。
 - 佐世保市教育センター教育フォーラムでの発表
- ② 研究成果の教育現場への還元を行う。
 - 研究リーフレットの発行
 - 教育センターだよりの発行
 - 教育関係資料の収集・整備
 - 教科書センターの管理・運営
 - 教材開発室の整備・充実

（5）教職員の自主的研修の支援

- ① 自主研究の支援を行う。
- ② 教材開発室の充実を行う。
- ③ 教育情報の収集と発信を行う。
- ④ 後継者育成への支援を行う。

（6）その他

- ① 小・中学校長会との連携を行う。
- ② 小・中教育研究会との連携を行う。
- ③ 関連機関及び3館（教育センター、少年科学館、清水地区公民館）連携を行う。



<書写・書道研修の様子>



<教材開発室>



<佐世保学び【場】バーガー>